

# どこの国にも龍がいる

## ～世界の国々の龍伝説と龍が登場する世界の児童書～

空想上の動物で、世界のどの国の伝説にも存在するのが龍です。しかし、その形や性格は各国で微妙に異なっています。一般的に、西洋の龍は悪者で、東洋の龍は龍神、龍王などがあるように神聖な存在であるとも言われますが、必ずしもそうではありません。龍は、また人々の想像力をかきたて、児童文学のなかに多く登場してきます。ここでは世界の龍伝説と、龍が登場する児童書を集めてみました。

### (龍について)

- 1) Dr. Ernest Drake's dragonology: the complete book of dragons (アーネスト・ドレイク博士の龍学：龍についての完全本) / by Dugald A. Steer Dorking Templar 2003. 当館請求記号 (Y5-B102)  
(出版国 イギリス) 龍学者協会出版の龍学の本。龍学者協会の性格は判然としませんが、龍は実在すると信じている団体ようです。世界の龍の種類、龍の生態、龍にまつわる伝説などが概観できます。日本語訳あり (『ドラゴン学：ドラゴンの秘密完全収録版』当館請求記号 Y2-N06-H9)
- 2) Drakony (龍たち) / Tim Appenzeller ; [perevod E. Kozlovoi]. Authorized Russian language ed. Moskva "Terra" 1996. 当館請求記号 (Y17-A1107)  
(出版国 ロシア) イギリスで出版されたもののロシア語版。「西洋では龍は災厄をもたらす肉食の怪獣だが、これに対して、東洋では益をもたらす存在としてあがめられている」という東西の違いを、世界の様々な国々の様々な時代の龍を取り上げて示しています。
- 3) Dragons galore(龍がいっぱい) / [written by Pauline Cartwright, Judy Ling ; illustrated by Richard Hoit ... et al. ; photography by Sarah Irvine]. Auckland Lands End Pub. c1999. 当館請求記号 (Y17NZ-H719-A6282)  
(出版国 ニュージーランド) 世界の龍について触れ、龍が登場する話を収録しています。
- 4) Eric Carle's dragons dragons & other creatures that never were (エリック・カールの龍及び実在しなかった他の生き物たち) / compiled by Laura Whipple. New York Philomel Books 1991. 当館請求記号 (Y17-A6282)  
(出版国 アメリカ) 伝説上の動物を絵とともに紹介。龍は最初のページに登場し「西洋の龍は獐猛で、強く、知恵があり、欲深い。火を吐いて一般的には壊し屋さん。東洋の龍は獐猛で、強く、知恵があり、豊かで、きわめて慈悲深い。火の代わりに霧を吐く」と説明されています。
- 5) Things that are most in the world (世界で一番のもの) / written by Judi Barrett ; illustrated by John Nickle. New York Atheneum Books for Young Readers c1998. 当館請求記号 (Y17-N632-B10805)  
(出版国 アメリカ) さまざまな世界一が挙げられていますが、「世界で一番熱いのはペペローニ・ピザを食べて火を吐いている龍」とのことです。ちなみに「世界で一番臭いのはスカンク達の会議」です。

### (龍の伝説\*\*\*東洋編)

#### 【日本】

- 6) Historias de mukashi : contos populares do Japao (昔話：日本民話) / Lucia Hiratsuka, texto e ilustracoes. Sao Paulo Editora Elementar [2007] 当館請求記号 (Y17BR-H668-B9440)  
(出版国 ブラジル) 表紙に描かれている龍は「湖の秘密」(pp.23-27)に出てくる龍です。村の若者のところに若い娘が訪ねてきて、ご飯が欲しいと言います。若者が与えると、娘はまた次の晩もやってきてご飯を求めます。娘は湖に住む龍でした。正体が知られてしまった娘は龍に姿を変えて湖に消えてゆきます。作者のルシア・ヒラツカはこのほかにも日本の昔話を多く出版しています。

## 【中国】

- 7) 鳳凰情・七女洞 (鳳凰の愛・七女洞) / 王大平, 藍承愷, 王麗莉 绘画, 江音 编文 杭州 : 浙江少年儿童出版社 1992 (彩绘本中国民间故事) 当館請求記号 (Y2-AZ607)  
(出版国 中国) 「七女洞」(pp.30-41) は貴州省に住む布依(ブイ)族の民話です。人々の住むところを水浸しにする悪い龍を七人の姉妹が退治します。
- 8) 天眼重开 (天の眼が再び開く) / 池沙鴻 绘画 成空 编文 杭州 : 浙江少年儿童出版社 1990 (彩绘本中国民间故事) 当館請求記号 (Y2-AZ578)  
(出版国 中国) 福建省、浙江省に住む畚(ショオ)族の民話です。母を亡くした少年・勇団は人々を困らせる二匹の龍を殺すために龍の住む山に出かけて行きます。途中で、それを妨害するさまざまな化け物のような動物に会いますが、鳳凰山の神様の娘の協力を得て、動物を退治し、最後に龍を退治します。
- 9) 龍女的故事・鳳凰山と鬼龍潭 (龍女のはなし・鳳凰山と鬼龍潭) / 万儉 绘画, 古軍 编文 杭州 : 浙江少年儿童出版社 1992 (彩绘本中国民间故事) 当館請求記号 (Y2-AZ596)  
(出版国 中国) 中国広西チワン地区に住む仡佬(ムーラオ)族の民話で、二話とも龍が出てきます。「龍女のはなし」は、小鳥の姿をしていた龍女の娘を救い結婚した青年に、王様が次々に難問を出しますが、龍女は次々にそれを解決します。「鳳凰山と鬼龍潭」は、人々を困らせる悪い黒龍と鳳凰娘が戦い、それぞれ鳳凰山と鬼龍潭という地名のもとになったというお話です。
- 10) 白兔姑娘・插龙牌 (白兔娘・龍の鍵) / 籃承愷 [等] 绘画 北興 编文 杭州 : 浙江少年儿童出版社 1990 (彩绘本中国民间故事) 当館請求記号 (Y2-AZ563)  
(出版国 中国) 「插龙牌」(pp.26-41) は中国に住むイスラーム教徒の回族の民話です。日照りの村に雨を降らしてもらうため龍王を訪れた少年は、龍王を殺し、自ら龍となって雨を降らせます。モスクに集まる人々やお姫様の姿がイスラーム文化を感じさせます。
- 11) 白塔与丹桂的故事・七星披肩的来历 (白い塔と金木犀の木の話・「七星披肩」の由来) / 王曉明 绘画 布谷, 子陵 编文 杭州: 浙江少年儿童出版社 1990 (彩绘本中国民间故事) 当館請求記号 (Y2-AZ579)  
(出版国 中国) 雲南省、四川省などに住む納西(ナシ)族の民話で、二話とも龍が出てきます。「白い塔と金木犀の木の話」の話は、悪い龍を封じ込めるために白い塔に変身した若者と、その隣にある金木犀の木に変身した少女の話です。「『七星披肩』の由来」は納西族の女性が身につける民族衣装の背についている丸い飾りの由来です。白い龍に姿を変えた龍王の息子に神様が火を涼しくする白い星を与えたことから来たとされています。
- 12) 龍牙變星星 (龍の歯が星に変わった) / 莊展鵬 文, 阿興 圖 台北 遠流出版 1993 当館請求記号 (Y17-AZ489)  
(出版国 台湾) 中国・ミャオ族に伝わる民話です。二匹の龍が喧嘩したために破れてしまった天を龍の歯を使って繕うというお話です。同じ話が日本でも出版されていますが(『ほしになったりゅうのきば』当館請求記号 Y17-5037)、登場人物の性格、挿絵の雰囲気は違ってきます。

## 【ヴェトナム】

- 13) Âu Cơ Lạc Long Quân (アウ・コとロン・クアン) / Kê chuyên : Mai Long; Vê tranh : Mai Long, Phạm Ngọc Tuấn, Hà Nội Nhà xuất bản kim đồng 1996 当館請求記号 (Y17-AZ2387)  
(出版国 ヴェトナム) 龍の娘を母とするロン・クアンと山の仙人の娘アウ・コが結婚して百個の卵が生まれ、五十人は父のロン・クアンと海岸で、五十人は母のアウ・コと山地で暮らし、ヴェトナムができたというヴェトナムの建国伝説です。ヴェトナム人は龍の子孫なのです。

## 【シンガポール】

- 14) Singapore children's favourite stories / text by Di Taylor ; illustrations by L.K. Tay-Audouard. Singapore Hong Kong Periplus Editions (HK) c2003. 当館請求記号 (Y17-B10154)  
(出版国 シンガポール、香港) 「The Luminous Pearl (輝く真珠)」(pp.48-55) は龍王の娘の婿選びの話です。「輝く真珠を持ってきた人の妻になる」という娘の言葉に双子の兄弟は龍宮に行きます。真珠ではなく、早魃に苦しむ村の人達に頼まれた龍王のひしゃくをもらったほうが、村で輝く真珠を見つけて娘の婿になります。龍王は雨を自在に降らせる能力を持っていることがわかります。

【フィリッピン】

- 15) The Dragon and the seven moons : Philippine folktale (龍と7つの月) [by] Joanne De Leon, English text by Katherine Rollins, Yuko Saito 東京 Shinseken 2003 当館請求記号 (Y18-B111) (出版国 日本) フィリッピンの民話です。大昔、月は7つありました。でも、龍が六つまで食べてしまいました。龍が最後の月を食べようとした時、人々が邪魔をして食べられるのを防ぎました。

(龍の伝説\*\*\*西洋編)

【デンマーク】

- 16) Guden Thor (神・ソール) / Ib Spang Olsen. [Hillerod] Alma2004.

当館請求記号 (Y17DK-O52-B6628)

(出版国 デンマーク) ソールは北欧神話の雷の神で、農耕、戦いの神でもあります。本書はソールの生涯のさまざまな出来事を描いています。裏表紙の龍(大蛇)は、ヨルムガントという名前です。ソールは牡牛の頭を餌にヨルムガントを釣り上げます。イブ・スパング・オルセンはアンデルセン賞画家賞受賞者です。

【ベラルーシ】

- 17) Kak Vasil zmeia odolel : belorusskaia narodnaia skazka (ワシーリはどうやって龍をやっつけたか: ベラルーシの民話) / [khudozhnik A. Ermolov]. Minsk Minskaia fabrika tsvetnoi pechati 1996.

当館請求記号 (Y17-A1413)

(出版国 ベラルーシ) ある地方にととてもとても恐ろしい龍が飛来して、人々に牛、羊などを要求します。人々が困り果てたところに知恵者のワシーリが通りかかって、龍を退治します。

【ウクライナ】

- 18) 100 kazok : naikrashchi ukrainski narodni kazky (100のお話: ベスト・ウクライナ民話) / za redaktsiieiu Ivana Malkovycha Kyiv A-BA-BA-HA-LA-MA-HA c2007

当館請求記号 (Y17UA-E68-B10889)

(出版国 ウクライナ) 龍の登場する話が4つ収録されています。イヴァシク・テレスクがガチョウに救われる話 (pp.10-16)、キリロ・コジウムヤカの龍退治の話 (pp.25-27)、ブッフ・コピトビッチの話 (pp.92-97)、ライツェの卵 (pp.143-159) です。本書の挿絵をかいているヴラジスラフ・エリコは、アンデルセンの「Snihova koroleva (雪の女王)」(当館請求記号 Y17 UA -E68-B10887) の挿絵などで知られています。

【ポーランド】

- 19) Smok Wawelski (ヴァヴェルの龍) / [tekst, J.T. ; ilustracje, Przemyslaw Salamacha].Poznan Podsiedlik-Raniowski i Spolka [200-?]

当館請求記号 (Y17-A8183)

(出版国 ポーランド) クラクフのヴァヴェル城の近くのヴィスワ川のそばに龍が住み、娘を食べていました。靴屋の徒弟のクラクが、一計を案じ、硫黄を入れたヒツジの丸焼きを、龍に食べさせます。のどが渴いた龍はヴィスワ川の水を飲みすぎてお腹を破裂させて死にます。ポーランドの人々にもっとも良く知られている龍です。

【イギリス】

- 20) The loathsome dragon (嫌悪すべき龍) / retold by David Wiesner & Kim Kahng. New York Clarion Books c2005.

当館請求記号 (Y17-B9060)

(出版国 アメリカ) イギリスのノーサンバーランドの醜い龍の話です。王女マーガレットは、悪い魔女の継母のために龍に変えられてしまいましたが、兄のリチャード王子に助けられてもとの姿に戻ることができます。継母はヒキガエルになります。龍はここでは嫌悪すべき存在としてとらえられています。

- 21) Saint George and the dragon : a golden legend (聖ジョージと龍: 黄金聖人伝説) / adapted by Margaret Hodges from Edmund Spenser's Faerie Queene ; illustrated by Trina Schart Hyman. Boston Little, Brown c1984.

当館請求記号 (Y17-A315)

(出版国 アメリカ) 聖ジョージの龍退治の伝説。スペンサーの「妖精の女王」を基にしています。龍は邪悪で人々を害する存在として描かれています。

【カザフスタン】

22) Kazahskie narodnye skazki (カザフスタン民話) Almaty Mektep 2002.

当館請求記号 (Y8-B3238)

(出版国 カザフスタン) 「美しいミルジャーンと水底の王国の王」(pp.57-64) は、水底の王様と結婚した美しい娘・ミルジャーンの話です。泉鏡花の『海神別荘』と同じように、水底の王国では絶世の美男子の王は、地上では龍の姿をしています。挿絵画家のメンディバイ・アリンは、挿絵画家を対象とした野間コンクールの第13回受賞者です。

【ドイツ】

23) Die drei Schonen : ein sorbisches Marchen (三人の美女 : ソルブの民話) / illustriert von Gisela Roder ; [nacherzahlt von Jan Wornar] Bautzen Domowina-Verlag 1985

当館請求記号 (Y19DE-R688-A878)

(出版国 ドイツ) ソルブ人はドイツに住むスラブ系の少数民族です。旅に出たヤンが、道連れになった男や兵士と一緒に、龍が守っている城に行き、龍を殺して、閉じ込められていた三人の娘を救い出し、それぞれ結婚して幸せに暮らすという話です。

(龍の登場する児童書)

24) Dragon Ball : dictionnaire encyclopedique (ドラゴン・ボール : 百科事典) / [Akira Toriyama ; traduction, Olivier Huet]. Grenoble Glenat c1999.

当館請求記号 (Y16-A132)

(出版国 フランス) 日本生まれで最も有名な龍は、ここに登場する龍でしょう。世界中に散らばった7つの玉を集めると神龍が現れて願いをかなえてくれるというドラゴン・ボールのマンガは各国に訳されて読まれています。本書はフランスで翻訳・出版されたドラゴン・ボールの百科事典です。

25) Dragens halsbrand (胸焼け龍) / Jorgen Stamp. [Bagsvaerd] Carlsen2001.

当館請求記号 (Y17DK-S783-B6621)

(出版国 デンマーク) 小さな龍のアウグストは喉が痛くてたまりません。誰かに助けてもらおうというろんな動物に訊いて回ります。水に頭をつけたアウグストは寒くなって火を吐きます。そして元気になりました。

26) Dragon's breath adventure (龍の煙への冒険) / story by Sandy Rudd ; pictures by John Gibbs. Windhoek, Namibia Build a Book Collective c1992.

当館請求記号 (Y17NA-G442-B9211)

(出版国 ナミビア) 野山を歩き回るのが好きな女の子ナダハファは、ある日、恐ろしい龍が住むという煙が出ている穴に落ちてしまいます。しかし、そこで出会った龍はきれいで楽しい龍でした。ナダハファは龍の友達も紹介され、楽しい時間を過します。穴から煙があがると人々は「龍が怒っているな」と言うのですが、ナダハファは「龍は笑っているのよ」と言います。

27) La-on and the 7-headed dragon (ラオンと七つの頭を持つ龍) / retold by Gabby Lee and Marcy Dans Lee ; illustrated by Marcy Dans Lee. Quezon City, Philippines Adarna House 2006.

当館請求記号 (Y17-B9050)

(出版国 フィリッピン) 娘を食べてしまう七つの頭を持つ龍を、ラオンという若者が、蟻、蜂、鷲などの助けを得て退治するお話です。

28) Lohikaarme ja seitseman prinsessaa (龍と七人のお姫様) / teksti ja savel, Mikko Perkoila; kuvat, Leena Lumme. Helsinki W. Soderstrom c2000.

当館請求記号 (Y17FI-L958-A5496)

(出版国 フィンランド) 龍に捕らえられたお姫様を王子が救い出し、二人は結婚する・・・というのが昔話のパターンですが、現代の龍はやさしい龍です。お姫様は龍と楽しく遊び、王子たちは龍と戦うことなく、お姫様と結ばれ、めでたしめでたしとなります。シンデレラや白雪姫などがパロディー化されて登場しています。

29) Jos nam samo ale fale (必要なのは龍) / Ljubivoje Rsumovic ; ilustracije Dusan Petricic.

[Beograd] RSUM Grafoprint 2007.

当館請求記号 (Y17RS-P495-B10672)

(出版国 セルビア) 龍についての詩を集めてあります。挿絵画家ドーサン・ペトリッチ Dusan Petricic は、児童書の挿絵で多くの賞を受けています。

- 30) Prinsusse Klura og dragen (クルーラ姫と龍) / Toemod Haugen ; illustrert av Anders Kaardahl. [Oslo] Gyldendal c2002. 当館請求記号 (Y17NO-K11-B2894)  
 (出版国 ノルウェー) クルーラ姫は、才能に恵まれ、勇気があり、何も恐れないお姫様です。ある日、龍にとらわれた王子を助けて欲しいと、クルーラ姫のところに要請が来ます。王子を助けられるのはクルーラ姫しかいないということで、姫の活躍が始まります。いまや児童文学は元気な女の子でいっぱいです。
- 31) قصه ی ازدها و پهلوان ملک، محمدرضا یوسفی, نسیم آزادی شباویز (龍と英雄マレクのお話) 1383 (2004) 当館請求記号(未整理)  
 (出版国 イラン) 英雄マレクの龍退治の話をもとにした創作です。村人は、この話が気に入らないので、話を変えてしまいます。すると、その話が現実になりました。
- 32) Der einsame Drache (ひとりぼっちの龍) : eine Geschichte von / Doris Diedrich ; illustriert von Javier Zabala. Zurich Bohem Press c2007. 当館請求記号 (Y17CH-Z21-B9891)  
 (出版国 スイス) 丘の上の城に恐ろしい龍が住んでいると聞いて、遊び相手のいないマチアスは龍に会いに行きます。龍は音楽の好きな優しい龍でした。二人は友達になり、龍はマチアスの家で暮らすようになります。町の人々は龍の奏でる音楽を聞き、龍に対する恐怖はなくなりました。龍とマチアスは、もうひとりぼっちではありません。
- 33) Der Lindwurm und der Schmetterling, oder, Der seltsame Tausch (龍と蝶、もしくは奇妙な交換) / Michael Ende, Manfred Schluter ; ein Bilderbuch mit Noten von Wilfried Hiller. Stuttgart Thienemann c1981. 当館請求記号 (Y17DE-SE346-A7823)  
 (出版国 ドイツ) 『果てしない物語』『モモ』などで親しまれているエンデの作品です。うるさいのに「おとなしい」といわれてしまった龍と、おとなしいのに「うるさい」といわれてしまった蝶が、名前を交換してやっと安心する話です。Lindwurm はラテン語の龍全般を表す言葉で、一般的には翼のない二本足の龍に使われています。
- 34) Pro Kroshku-drakoshku (赤ちゃん龍について) / Andrei Usachev. Moskva Astrel c2006. 当館請求記号 (Y17-B10883)  
 (出版国 ロシア) 赤ちゃんに読んで聞かせる詩の形式の本です。ここで、龍たちが言う「バユー、バーチシカ、バユー」というロシア語は日本語の「ねんねんころりよ」に相当します。なかなか寝ない赤ちゃん龍に、お父さん龍、お母さん龍は寝付かせようがんばります。近所の龍も巻き込んでやっと寝てくれました。が、こんどは起きようとしません。「もう起きて」とつい叫んでしまいます。
- 35) Ajdar (龍) / écrit et illustre par Marjane Satrapi. Paris Nathan c2002. 当館請求記号 (Y17FR-S253-B3259)  
 (出版国 フランス) 「アジダル」は、ペルシャ語で「龍」です。著者のマルジャー・サトラピはイラン出身で、自伝的マンガ「ペルセポリス」(邦訳『イランの少女マルジ』)で一躍、有名になりました。賢い王様のもとでみんなが幸せに暮らしている国で、地震が起こります。王様に頼まれたマチルドは地震の原因と思われる龍に会いに行きます。龍と会って話すと龍は背中に痛みがあることがわかり、マチルドは龍の背中を伸ばしてあげます。王国に住む人々と動物の絵がとてもユーモラスです。
- 36) Sous l'oeil du dragon (龍の目から) / texte, Alexia Sabatier ; illustrations, Xavier Besse. Paris Reunion des musees nationaux c2005. 当館請求記号 (Y17FR-B557-B6116)  
 (出版国 フランス) 小李は龍の描かれた凧を持っていましたが、風がその凧をいずこともなく運んでいてしまいました。がっかりする小李に、父親は龍の話をいろいろと話してくれました。
- 37) There's no such thing as a dragon (龍なんてものはいないわよ) / Jack Kent. New York Golden Books c1975. 当館請求記号 (Y17-K37-B545)  
 (出版国 アメリカ) ある日、ビリーの部屋に小さな龍が出現します。しかし、お母さんは「龍なんてものはいないわよ」と無視するばかり。龍はだんだんと大きくなり、家を動かすほどになります。お母さんが龍を無視しなくなったとき、龍はもとの大きさに戻ります。

- 38) Draakonid voorsil (龍はよそへ) / Aino Pervik ; illustreerinud Piret Raud. Tallinn Tiritamm c2002. 当館請求記号 (Y17-B7738)  
 (出版国 エストニア) 龍たちが住んでいた山の麓で、つまらない理由から戦争が始まり、龍たちはよその国に行って暮らさざるを得なくなります。戦争による難民の運命を子どもたちがわかるように、龍を使って描いた作品です。著者のアイノ・ペルヴィックは、難民問題だけでなく、さまざまな社会問題をテーマにした児童書を書いています。
- 39) Georg und der Drache : ein Legendenbuch (聖ゲオルグと龍 : 伝説の本) / erzählt von Max Bolliger ; mit Bildern von Giovanni Manna. Zurich Bohem Press c2005. 当館請求記号 (Y17-B6428)  
 (出版国 スイス) 中東、ヨーロッパの伝説を一年の日付順に集めてあります。龍は1月5日「柱頭行者 (\* 苦行の一環として高い柱の上で暮らす行者)・シメオン」、4月23日「聖ゲオルグと龍」に登場します。
- 40) Das Drachenbuch (龍の本) / Walter Schmogner. Frankfurt a.M. Insel 1969. 当館請求記号 (Y17DE-S35617-A7867)  
 (出版国 ドイツ) 孤児の龍は、友達を欲しがっていました。ある日、動物園で、最も美しい動物コンテストのポスターを見た龍は応募します。さまざまな技を見せた龍は優勝しますが、そればかりでなく多くの友達を得ます。心優しい龍とユーモラスな仲間達のこのお話は多くの言語に訳されました。
- 41) The dragons of Blueland (空色高原の龍たち) / story by Ruth Stiles Gannett ; illustrations by Ruth Chrisman Gannett. New York Random House c1979. 当館請求記号 (Y8-A5822)  
 (出版国 アメリカ) 日本語にも翻訳され、アニメにもなった「エルマーとりゅう」シリーズの中の一冊です。人間に閉じ込められた龍の家族を救うためにエルマーが活躍します。題名にある「空色高原」は龍の住んでいる場所ですが、日本語題名は内容から『エルマーと16ぴきのりゅう』(当館請求記号 Y7-341) になっています。
- 42) Manasteinar i vasanum (ポケットの中の月の石) / Brian Pilkington. Reykjavik Mal og menning 2003 当館請求記号 (Y17IS-P639-B4904)  
 (出版国 アイスランド) アルダにはデヌスという龍の友達があります。デヌスはアルダの望むように大きくなったり小さくなったりします。デヌスは空も飛べます。アルダはデヌスに月に連れて行ってもらって月の石をポケットに入れてきました。
- 43) Svobodu zmeiu Gorynychu! (ゴルヌチ龍に自由を!) / Vladimir Blagov ; khudozhnik Olga Podivilova. Moskva Samovar c2007. 当館請求記号 (Y17-B10657)  
 (出版国 ロシア) 二人の兄妹、10歳のヴァーニャは映画のヒーローが、9歳のアリョンカはお話が好きです。どちらが面白いか議論する二人は、ある日、映画のヒーローや物語の登場人物がいっぱい出てくる夢を見ます。もちろん、ゴルヌチ龍もその中に出てきました。ゴルヌチ龍は三つの頭を持つロシア・東欧の龍で、伝説では英雄に殺されてしまいますが、二人は、この龍を救おうとします。
- 44) The book of dragons (龍の本) / E. Nesbit ; with illustrations by H.R. Millar ; afterword by Peter Glassman. New York SeaStar Books [2001] 当館請求記号 (Y8-B567)  
 (出版国 アメリカ) 日本にも多く訳されて人気のある作家ネズビットの龍を扱った作品を集めてあります。「龍を嫌いな人なんているかしら? 火を吐いても、尻尾を振り回しても、恐ろしげでも、愛想よくても、大きくても、小さくても、龍の冒険は、いつも不思議と驚き、時にはユーモアでいっぱいです」という言葉が児童文学における龍の位置を示しているようです。
- 45) Rackham's Color illustrations for Wagner's "Ring" (ワーグナーの「(ニーベルングの) 指輪」にラックハムが描いたカラー挿絵集) / Arthur Rackham ; with an introduction and captions by James Spero. New York Dover c1979. 当館請求記号 (Y6-A242)  
 (出版国 アメリカ) ワーグナーのオペラを基にしたイラスト集です。主人公のジークフリートは龍に変身したファフナーを倒し (p.41, 44-45 参照)、その返り血を浴びることで小鳥から指環のありかを聞くことができます。ドイツの英雄叙事詩「ニーベルングの歌」のなかに出てくるジークフリートは、龍の血を浴びることで不死身の体になったとされています。

- 46) Dragon pula (赤い龍) /sinulat ni, Victoria anonuevo:guhit ni, Jess Abrera, Jr. Quezon City: Children's communication 1980 当館請求記号 (Y8-AZ3410)  
(出版国 フィリッピン) ペピトは道で赤い卵を見つけます。卵から赤い龍が孵りました。赤い龍はペピトをいじめる人々を懲らしめたり、害虫や悪者を退治するなどして活躍します。
- 47) Die Hexe Lakritze : zwei Geschichten (魔女リクリツェ : 二つのお話) / Eveline Hasler ; mit Bildern von Ulrike Muhlhoff. Wurzburg Arena Verlag 2001. 当館請求記号 (Y17-A7711)  
(出版国 ドイツ) 魔女リクリツェは、魔法を学んで、龍のシュロップを作ります。作り忘れたところもありますが、シュロップはみんなを助けてくれる心優しい龍であることがわかります。
- 48) Boze draak (怒りんぼ龍) / Philippe Goossens [illustraties] ; Thierry Robberecht [tekst]. Amsterdam Clavis c2003. 当館請求記号 (Y17-B8349)  
(出版国 オランダ) 怒ると龍に変身してしまう少年の話。少年が変身する龍の形状は恐竜に似ています。「龍」には「気性の激しい人」という意味があります。
- 49) 小さなりゅうはスナフキンがすき トーベ=ヤンソン原作 東京講談社 1990 当館請求記号(Y18-5178)  
(出版国 日本) 魚つりに行ったムーミンは小さな龍を捕まえます。部屋に置いた龍は火を吐いたりします。どうしようかと思っているムーミンのところにスナフキンがやってきて龍を連れ出します。そして、スナフキンはこっそり龍を逃がしてあげます。
- 50) The minstrel and the dragon pup (竜の子ラッキーと音楽師) / written by Rosemary Sutcliff ; illustrated by Emma Chichester Clark. London Walker Books 1993. 当館請求記号 (Y17-C533-A1950)  
(出版国 イギリス) 旅の音楽師は海岸で卵を見つけます。卵からは小さな龍が生まれ、ラッキーと名付けられます。ラッキーと音楽師は友達になりますが、ある日、ラッキーがいなくなってしまう。ラッキーは珍獣を集めるのが趣味の王様の庭にいました。王子の病気を治した音楽師は、無事、ラッキーを取り戻します。龍は小さくかわいらしい友達として描かれています。
- 51) The dragon's cold (風邪ひき龍) / written and illustrated by John Talbot. London Walker Books 1988. 当館請求記号 (Y17-T139-A7802)  
(出版国 イギリス) 主人公の龍は風邪をひいて火を吐けなくなったために龍の家族や友達から遠ざけられて、鼻水を出しながら村はずれにさびしく潜んでいましたが、村の子どもたちに救われます。元気になった龍は火を吐いて村の古いボイラーの代わりになります。
- 52) The dragon's pearl (龍の真珠) / retold by Julie Lawson ; paintings by Paul Morin. Toronto Stoddart 1992. 当館請求記号 (Y17-A5962)  
(出版国 カナダ) もともとは、四川省の漢族の「望娘灘」という民話です。母と二人で暮らす少年シャオセンの村を旱魃が襲います。しかし、シャオセンが見つけた不思議な真珠のおかげで村人は飢えずにすすみました。その真珠をとられそうになったシャオセンは真珠を飲み込んで龍になります。最後にお母さんのところに、dragonfly(トンボ)が来るというのは英語圏の連想と思われれます。中国ではトンボは日本と同じく「蜻蛉」と書き、龍との関連はありません。
- 53) Mi Long, el drac de la perla (ミロン、龍の真珠) / adaptacio de Pep Coll ; il·lustracions de Miquel Calatayud.Barcelona La Galera 1994. 当館請求記号 (Y17ES-C143-A7857)  
(出版国 スペイン) これも「望娘灘」の話です。挿絵によって雰囲気はまったく変わっています。言語は、スペインの北東部で使われているカタロニア語で書かれています。
- 54) The paper dragon (紙の龍) / by Marguerite W. Davol ; illustrated by Robert Sabuda. New York Athenuem Books For Young Readers c1997. 当館請求記号 (Y17-A6306)  
(出版国 アメリカ) 山で長いこと眠っていた龍が目覚めて村は危機に陥ります。村の絵師が龍の出した三つの難問を解くと、恐ろしい龍は、紙の小さな龍に変わります。仕掛け絵本で有名なロバート・サブダの挿絵です。本書は、全ページが折りこみになっており、大きく広げられます。

- 55) Farmer Giles of Ham (ハムの農夫ジャイルズ)/ by J.R.R. Tolkien ; embellished by Pauline Diana Baynes ; edited by Christina Scull, Wayne G. Hammond. London HarperCollins  
当館請求記号 (Y8-A5382)  
(出版国 イギリス) ハム村の農夫ジャイルズが龍や巨人と戦ったりする話です。作者のトルキンは長編『指輪物語』にもたくさんの龍を登場させています。
- 56) The wooden dragon (木製の龍) / Joan Aiken ; illustrated by Bee Willey. London Jonathan Cape 2004.  
当館請求記号 (Y17-W714-B8014)  
(出版国 イギリス) ハンドルとウィンドウの兄妹は森の中の小さな家に住んでいます。その家のなかに木製の龍があって、船乗りのハンドルがいない間、龍は打ち捨てられています。ウィンドウにきれいにしてもらい、家のまわりの落ち葉をきれいにします。龍の形状はかなり小さく短いものになっています。
- 57) Molochnyi zub drakona tishki : povest-skazka (龍のテシカの乳歯) : dlia starshego doshkolnogo i mladshogo shkollnogo vozrasta / Alla Potapova ; khudozhnik, Vladislav Shiriaev. Kiev "Veselka"1985.  
当館請求記号 (Y8-A5023)  
(出版国 ウクライナ) スラビックとオクサーナは、廃墟になった家の中で小さな龍・テシカに会います。テシカとともにさまざまな冒険をした二人は、最後にテシカの城に招かれます。
- 58) How droofus the dragon lost his head (龍のドローフスはどんなふうに関頭を失くしたか) / written and illustrated by Bill Peet. Boston Houghton Mifflin 1971. 当館請求記号 (Y17-B5096)  
(出版国 アメリカ) ドローフスは、龍一家の末っ子です。ある日、一家で移動中にドローフスは地上に転落してしまい、そのまま地上に住むことになります。最初は殺されそうになりましたが、困っているお百姓さんを助けて、よい龍として皆に愛される存在になりました。
- 59) Lugu lahkest lohe justusest ja printsess miniminnist (親切な龍のジュスツスと王女・ミニニンのお話)/ Edgar Valter. [Tallinn?] Sinisukk & Co. 1995. 当館請求記号 (Y17EE-V215-A7412)  
(出版国 エストニア) 龍のジュスツスは王女・ミニニンを助けて、隣国が攻めてくるのを防ぎます。
- 60) Eyes of the dragon (龍の眼) / by Margaret Leaf ; illustrated by Ed Young. New York Lothrop, Lee & Shepard Books c1987. 当館請求記号 (Y17-A421)  
(出版国 アメリカ) 山の村には獣や外敵から村を守るための城壁がありました。村長はこの城壁に龍の絵を描くことを思いつき、画家に頼みます。龍の絵を描いた画家は目を入れたいと言いますが、村長は目を入れさせます。目の入った龍は城壁から抜けて去り、城壁はばらばらになります。
- 61) Dragonsong : a fable for the new millennium (龍の歌 : 新世紀への寓話) / written by Russell Young ; illustrated by Civi Cheng. Fremont, Calif. Shen's Books c2000.  
当館請求記号 (Y17-B9427)  
(出版国 アメリカ) 小さな龍のチャンアンは自分の住む山の守り龍になるため、村の人々にすばらしい贈物を贈らなければならなくなりました。チャンアンは世界を旅してすばらしい贈物を見つけます。旅の途中、チャンアンがめぐり合う各国の龍との会話 (例えば、イギリスの龍が「昔、悪い龍がいて聖ジョージに殺されてしまった (=聖ジョージの龍退治)」などと話す) がとても面白い作品です。
- 62) The dragon and the unicorn (龍と一角獣) / written and illustrated by Lynne Cherry. San Diego Harcourt Brace & Co. c1995. 当館請求記号 (Y17-C522-A5851)  
(出版国 アメリカ) 龍のヴァレリオと一角獣のアルレグラは深い森に住んでいます。森に人間たちがやってきて森を壊そうとするので二匹はそれをやめさせようとしますが、その国の王は恐ろしい怪獣を捕まえたものには賞金を出すと布告します。その王の娘が森に迷い込み、二匹はその娘と仲良くなります。娘を助けられた王は、娘から森を大事にすることを教えられます。
- 63) Kobberdragen (銅製の龍) / Soren Jessen. [Kobenhavn] Gyldendal c2003.  
当館請求記号 (Y17DK-J58-B6478)  
(出版国 デンマーク) コペンハーゲン市庁舎の前にある噴水のところに、銅製の龍が何頭か飾られています。この龍たちは夜になると、それぞれ、あちこちに飛んで行き、またもとの噴水に戻ります。